



# 第36回近畿高等学校バスケットボール新人大会

## 個人トータル表

<b>男子</b>		令和8年2月15日	11:05	開始
<b>準々決勝</b>		グリーンアリーナ神戸	C	

報徳学園	53	<table border="1"> <tr><td>10</td><td>1st</td><td>24</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>6</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>18</td></tr> </table>	10	1st	24	19	2nd	16	6	3rd	16	18	4th	18	74	◎ 京都精華学園
10	1st	24														
19	2nd	16														
6	3rd	16														
18	4th	18														

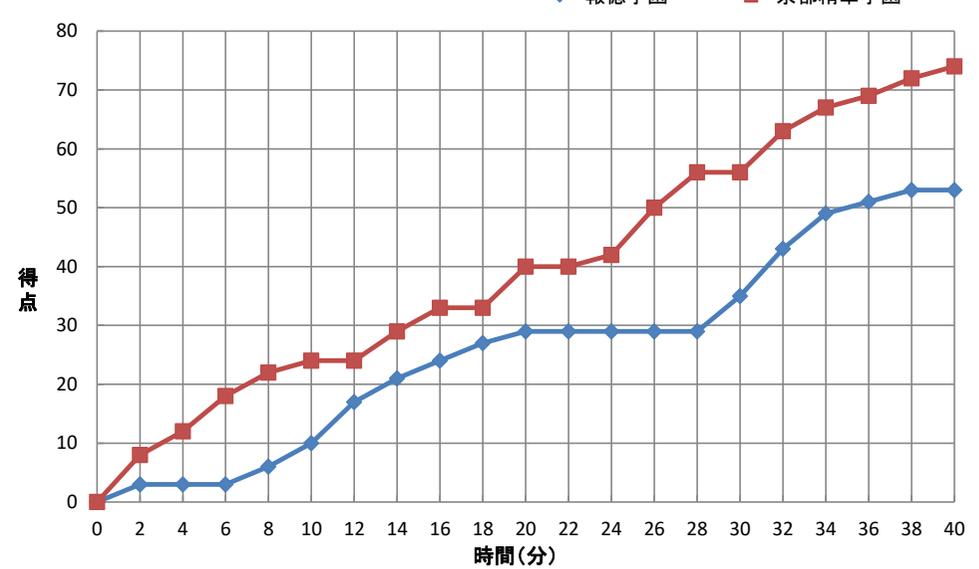
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 1	山本 勇生	19	5	2	0	2	1	木下 梁	2	0	1	0	0
2	佐藤 隆晟	0	0	0	0	1	* 3	佳咲 凱雅	9	3	0	0	1
* 8	澤山 陸	4	0	2	0	1	5	舟谷 帆貴	0	0	0	0	0
10	福井 天	0	0	0	0	0	11	室 翔亜	7	1	2	0	1
* 17	高松 佳司	3	1	0	0	0	13	今西 大良	11	1	4	0	1
* 19	浅井 智也	3	0	1	1	2	14	森田 隼生	2	0	1	0	0
20	藤原 悠粋	2	0	1	0	0	* 17	善山 奏介	12	2	3	0	0
22	長水 誠治	0	0	0	0	0	18	庄司 遥人	-	-	-	-	-
38	下坂 柊翔	0	0	0	0	1	21	杉原 拓	6	1	1	1	1
42	内藤 立城	0	0	0	0	0	* 23	オチレベ アレクサンダー	18	0	8	2	0
* 43	トンプシン クリントン	6	0	2	2	2	* 32	中村 太優	4	0	2	0	3
70	松田 豪	0	0	0	0	0	* 35	山崎 燦吾	3	1	0	0	3
76	アマダス クウィン 兼加	8	2	1	0	4	44	河合 勇毅	-	-	-	-	-
85	高橋 巧真	5	1	1	0	2	87	徳永 久馬	0	0	0	0	0
90	森田 旭	3	1	0	0	0	89	松崎 大地	0	0	0	0	0
コーチ	田中 敬						コーチ	山崎 翔一朗					
Aコーチ	更谷 知則						Aコーチ	奥田 翔					
合計		53	10	10	3	15	合計		74	9	22	3	10

クルーチーフ: 深野木 慧

1stアンパイア: 北山 拓海

2stアンパイア: 徳本 将思

## 得点経過



TO	1・2Q	3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	2:16	14:37	22:13	25:16	:	:	:
TeamB	19:53	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕

【第1Q】  
両チームともマンツーマンディフェンスで試合開始。京都精華は#17善山の3Pシュートからリズムを掴み、#23オチレベのゴール下シュートなどで点差を広げる。報徳は#1山本を中心にPnRから攻めるがシュートが入らず攻めあぐみ、選手交代で流れを掴もうとする。一方、京都精華は外からのシュートを効果的に決めて、24-10と京都精華リードで第1クォーターを終える。

【第2Q】  
報徳は出だし#90森田の3Pシュートが決まり、勢いに乗って連続で得点を重ね、巻き返す。しかし京都精華は落ち着いてゲーム運び、#23がゴール下を支配する。報徳はタイムアウトで立て直し、#1の連続3Pシュートで食らいつく。40-29と京都精華リードで前半終了。

【第3Q】  
京都精華は激しいディフェンスから速攻で得点を重ね、#17、#23を中心に得点を重ねる。さらに点差を広げようと京都精華は1-2-1-1オールコートプレスディフェンスを仕掛け、見事に成功し連続で得点を重ねる。報徳はタイムアウトをとり立て直しを図る。そして#85高橋のペイントアタック、#1のミドルシュートなどで得点するが、点差を縮めることができず、56-35と京都精華リードで第3クォーター終了。

【第4Q】  
報徳は出だし#1の連続3Pシュートから、リズムを掴もうとする。#43トンプシンがリバウンド、ルーズボールに奮闘し、ファウルをもらい、フリースローを決め、プレッシャーディフェンスで追い上げを狙う。京都精華は、落ち着いて自分たちのバスケットを展開し、#13今西の3Pシュートや#11室のミドルシュートなどで得点を重ねる。しっかり時間を使い、74-53で京都精華が勝利を収めた。

戦評: 水田 和磨

記録: 県立明石高等学校